

乳房部分切除術(リンパ節生検を含む)をおこなう患者様へ

患者氏名	○様	病名	症状：	主治医：	○印	受け持ち看護師：	
月日	1月0日		1月1日	1月2日	1月4日		
項目	手術前日	手術前(当日)	手術後(当日)	術後1日目	術後2日目～	退院日	
達成目標	手術について理解できる		創部の痛みが軽減または消失できる			日常生活について理解できる	
治療・薬剤(内服)	- 持参された薬とお薬手帳は、薬剤師が確認するため、一時的にお預かりします - 許可が出たお薬は、内服してください - 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します - 入院後採血があります - センチネルリンパ節生検を受けられる方は、必要な注射と検査を行います - 午後、外来で診察があります - その時に医師がネームバンドに手術をする場所(右または左)を記載します 21時に下剤を内服します	- 朝のお薬は()時まで()を飲んでください - 手術が9時開始でない場合は、手術側の反対の腕より点滴を開始します	- 点滴を継続します - 抗生剤の投与を行います - 心電図モニターをつけます - 手術後指示があるまで酸素の投与を行います - 足にマッサージをする器械をつけます	朝、採血があります - レントゲン撮影があります - お昼から痛み止めの薬が開始します - 普段飲んでいる薬は朝から開始となりますので、看護師がお渡しします		- バストバンドを看護師が外します - 退院当日は午前10時頃退院です - IDバンドは退院時に看護師がはずします - 退院時にICカードを病棟に返却してください - 退院後のご相談・お問い合わせは外来の看護師が承ります	
活動・安静度	- 制限はありません - シャワーをして体を清潔にしてください - 洗髪も行なってください	制限はありません	- 指示があるまでベッド上安静です - 許可が出た後、歩行できます - 初めの歩行は看護師が付き添いますので一人で歩かないでください	午前中に身体を拭きます	シャワー浴が可能です	《退院後のリハビリについて》 - 手術後2週間目まではリハビリパンフレットの第1と第2段階まで行ってください - 手術後2週間目以降はリハビリパンフレット第3段階まで行ってください - リハビリを怠ると再び腕が上がりにくくなります - リハビリは半年以上続けましょう - 痛みや疲れを感じたら無理をせずに休息をとりながらリハビリを継続してください	
食事	- 夕食以降は食べられません - 指定の飲み物のみ飲めます - 特別な栄養管理の必要性の有無(有・無) - 栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します	- 食事はできません - 歯磨き、うがいは可能です - お水、お茶は()時まで飲めます	- 食事はできません - 酸素投与終了後から飲水ができます	術後1日目のお昼から全粥食、夕から手術前と同じ食事が出ます			
排泄	制限はありません		許可が出た後からトイレに行けます	制限はありません			
患者様およびご家族への説明	- 入院・手術について説明します - 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルブネイルも落としてください - 患者様確認のためIDバンドを装着します - 手術同意書、麻酔同意書、輸血同意書のサインをしたものを看護師に提出してください - 手術後に使用する出血予防のための胸帯(バストバンド)をセブンイレブンで購入してください - サイズは看護師が測定します - ブラジャーや補整品のサンプルが見れる部屋が病棟にありますのでご希望の方は看護師に申し出てください	- 指輪、時計、めがね、コンタクトレンズ、義歯などや金属類で外せるものは外してください - 静脈血栓症予防のために、弾性ストッキングをはきます - 貴重品の管理はお付き添いの方に預けてください	- 手術後は看護師が適宜お伺いします - 痛みや辛さがある等、何かありましたら遠慮なく申し出てください - 出血予防のため、プレストバンドを使用します - 適宜、バンドの調整を看護師が行います - 手術後1日目からはリハビリはせず、日常生活動作(食事、排泄、着替え、移動)は可能です - 手術の翌朝までは、手術した側の腕は、安静にしてください			《ブラジャーについて》 - 手術後2～3ヶ月までは、ワイヤーの入っていないブラジャーを使用してください - 前開きのブラジャーがセブンイレブンで購入できます - 外部から衝撃など傷を保護する役目がありますので、着用は継続してください 《日常生活の注意点》 - 職場復帰は医師にご相談ください - 食事の制限はありません - 激しい運動は控えてください - その後は外来で医師に確認してください - 日常生活や軽い運動は問題ありません 《以下の症状がある際は外来へ相談してください》 - 痛みの増強がある 38℃以上の発熱がある - 出血や腫れがある	

注1 場合によっては内容を変更することがあります

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

年 月 日 患者氏名 (代理人の場合) 代理人名 (続柄)